

# 令和7年度保健事業報告

令和8年2月6日

# 1 母子保健事業

---

母子保健事業では、母子保健法（昭和 40 年法律第 141 号）に基づき、妊娠期から切れ目のない支援を提供し、健康・子育てに関する相談、健康診査、教育などを通じて、母子の安全安心な生活とこどもの健全な発育を支援しています。

現在では、こども家庭センターの母子保健機能として、児童福祉機能を担う子ども福祉課と連携しながら、妊産婦及び子育て中の家庭に対し、妊娠・出産・子育てに関する各種の相談に応じ、必要な情報提供・助言・保健指導により伴走型相談支援を行っています。

また、妊娠届出数が減少する中、サポートプランにより丁寧な支援を必要とする妊産婦が増加しているため、医療機関、福祉事業所等の関係機関との連携を深め支援を強化しています。

令和 7 年度からの新規事業としては、妊婦であることの認定後及び妊娠しているこどもの人数の届出を受けた後に各 5 万円を支給する「妊婦のための支援給付」、及び、妊娠期からの相談支援を強化する「妊婦等包括相談支援事業」を開始し、安心して出産・子育てができる環境を整備しました。

次に、令和 7 年度から拡充した事業として、妊婦健診事業では産婦健診を 1 回から 2 回に増やし、産後の健診を充実させることで、必要なケアに早期につなげ、切れ目のない支援を行いました。また、産後ケア事業の利用者負担金を国の助成に合わせて 1 日 2,500 円減額し、宿泊型を 7,000 円から 4,500 円に、デイサービス型を 3,500 円から 1,000 円にすることでより利用しやすい環境を整備しました。

さらに、出生後 1 か月頃に医療機関で受診する乳児健診でも、検査内容の拡充を図り、疾病及び異常の早期発見とともに、育児環境・心配事・栄養状況の確認などから養育環境を評価し、養育者への育児に関する助言を行い、伴走型相談支援の効果的実施につないでいます。

## (2) 事業一覧

## ※太字は新規・拡充事業

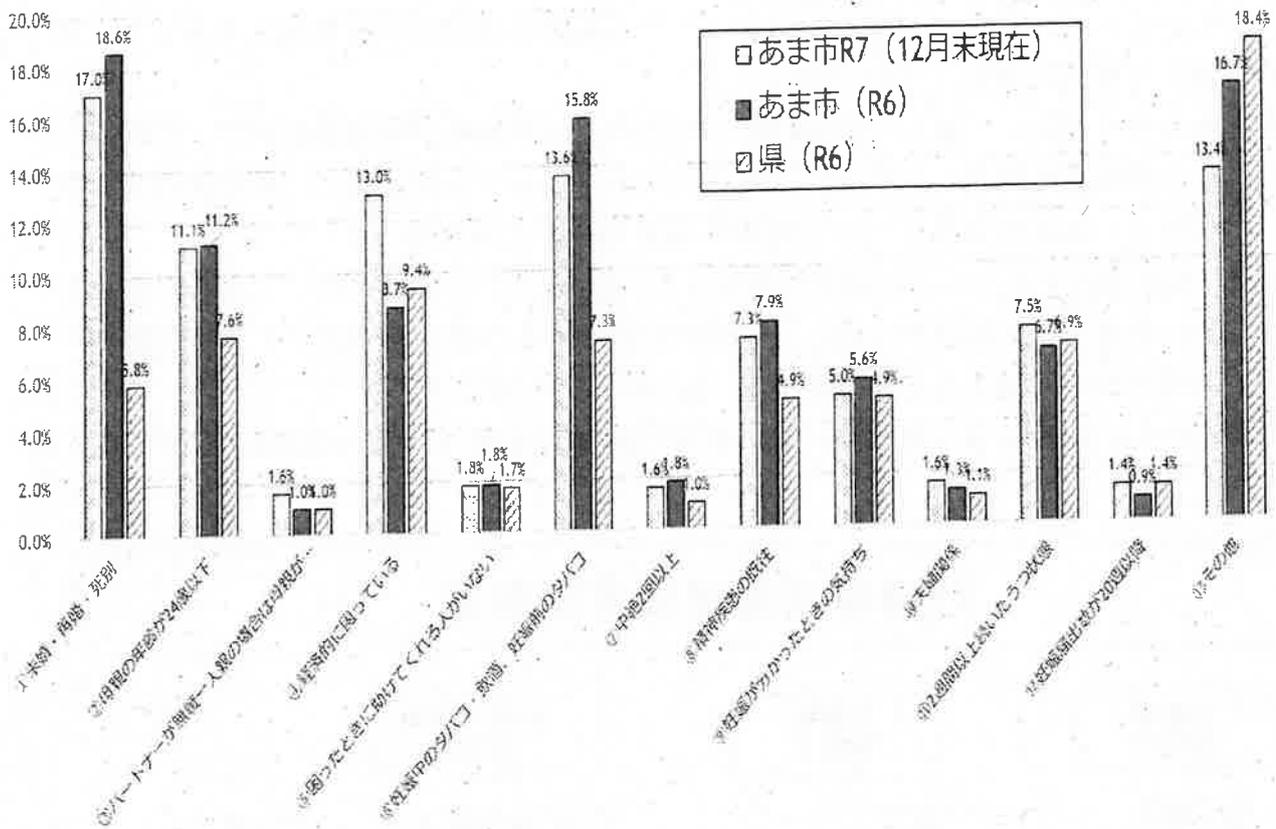
令和7年12月末現在

NO	事業名	実施時期 ・回数	事業内容	令和7年度		令和6年度
				実績 (人)	年度末見込 (人)	実績 (人)
1	母子健康手帳 交	随時	手帳の使い方、妊産婦・乳 児健診の受診票の利用方 法、保健事業の案内、妊娠 届出時アンケートの実施、 面談	405 (双胎5)	546 (双胎6)	584 (多胎7)
2	子育て支援アプリ	随時	子育て支援アプリによる、 乳幼児健診の記録、予防接 種のスケジュールの自動調 整に加え、子ども福祉課及 び保育課を含めたプッシュ 型の通知や子育て情報を掲 載することで、個々に応じ た丁寧な子育て支援及び保 護者の利便性向上を図る。	会員数 1,347  登録数 1,659	会員数 1,530  登録数 1,897	会員数 802  登録数 922
3	利用者支援事業 (こども家庭セン ター型)	随時	妊娠期及び子育て期におけ る母子保健や育児に関する 相談及び情報提供	400	540	577
		随時	妊産婦を対象とした支援プ ランの作成	109	145	157
		随時	妊産婦を対象としたサポー トプランの作成	44	58	28
		12回	要支援検討会（合同ケース 会議）	9回	12回	12回
		3回	子育て支援連絡会議（地域 資源の開拓）	2回	3回	3回
4	妊婦等包括相談 支援事業	1回	妊娠届出（母子健康手帳交 付）時の面談	400	540	577
		1回	妊娠8か月頃までの面談 （希望者）	16	22	18
		1回	生後4か月までの面談	393	524	536
	妊婦のための支 援給付事業	1回	妊娠届出をした妊婦を対象 に支給	362	543	586
		1回	妊娠しているこどもの人数 の届出をした妊婦を対象に 支給	461	692	560
5	パパママ教室	12回	分娩について・沐浴・お父 さんの妊婦体験・交流会	126/9回	170	208/12回
	パパママ 歯科健康診査	9回	歯科医師の診察・相談・講 話	40/7回	51	36/9回
6	産前産後 サポート事業	随時	助産師による訪問（母乳相 談等）	2	3	6 (実6)
7	産後ケア事業	随時	保健指導を必要とする産後1 年未満の母親とその乳児が 一定期間、医療機関に入院 し、母体の管理及び生活指 導、乳房管理、沐浴や授乳 等の育児相談を実施 利用期間の上限：7日	31 (91日)	41 (120日)	21 (63日)

令和7年12月末現在

NO	事業名	実施時期 ・回数	事業内容		令和7年度		令和6年度
					実績 (人)	年度末見込 (人)	実績 (人)
22	心理相談	随時	臨床心理士(公認心理師)による子どもの発達に関する個別相談		8/5回	11	29/23回
23	健診事後教室	48回	発達に遅れのある子ども、育児不安のある保護者等に対し、臨床心理士(公認心理師)・保育士・保健師が遊びを通して児の発達支援と母の育児支援を実施		135/36回	190	235/48回
24	保育園・幼稚園 歯みがき教室	24回	園児及びその保護者に対してブラッシング指導、むし歯予防の話		1,710/24回	1,710/24回	1,595/24回
25	歯科保健指導	16回	児童、生徒に対して、ブラッシング指導、むし歯・歯肉炎予防等の話		419/14回	472	603/17回
26	学校保健委員会	随時	むし歯・歯肉炎予防についての情報共有及び検討		-	-	1回
			こころの健康づくり(自殺予防対策)、睡眠、食育等についての情報共有及び検討		3回	3回	5回
27	福祉実践教室	1回	妊婦体験や育児体験の実施		68人/2回	68人/2回	20/1回
28	家庭訪問	随時	こんにちは赤ちゃん訪問(乳児家庭全戸訪問)、養育支援訪問、未熟児、乳幼児健康診査未受診者・要フォロー児、妊産婦への支援のための訪問	妊婦	10	13	17
				乳児	404	536	615
				幼児	21	26	44
				その他	393	436	584
29	一般不妊治療費 助成事業	随時	不妊治療を受けている夫婦(事実婚含む)に対し、ホルモン療法等の一般不妊治療費に要した本人負担額の1/2(50,000円上限)を助成		6	43	41
30	未熟児養育医療 給付事業	随時	入院医療を必要とする未熟児の保護者に対し養育医療費を給付		19	23	24

## 妊娠届出時スクリーニング結果



## 要支援検討会 (令和7年度合同ケース会議) 協議件数

年度	妊娠届出数	検討数	検討結果		
			ハイリスク妊婦	要支援妊婦	特定妊婦
令和5年度	569件	209件 (36.7%)	20件 (9.6%)	174件 (83.3%)	11件 (5.3%)
令和6年度	577件	183件 (31.7%)	26件 (14.2%)	150件 (82.0%)	4件 (2.9%)
令和7年度 (12月末)	440件	125件 (28.4%)	16件 (12.8%)	104件 (83.2%)	5件 (4.0%)

参加機関：健康推進課保健師、子育てコンシェルジュ、家庭児童相談員、子ども福祉課職員

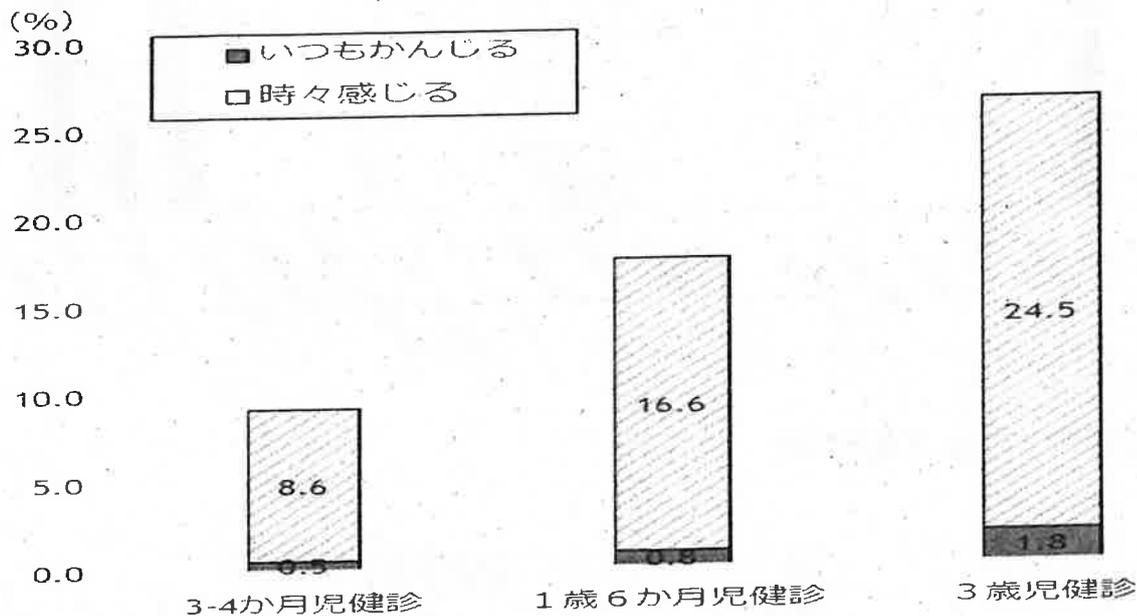
### ③乳幼児健康診査

乳幼児健康診査はすべての子どもを対象とする事業であり、受診前には保護者に健診アンケートを記入していただき、育児に対しての現状を把握し、相談に応じています。

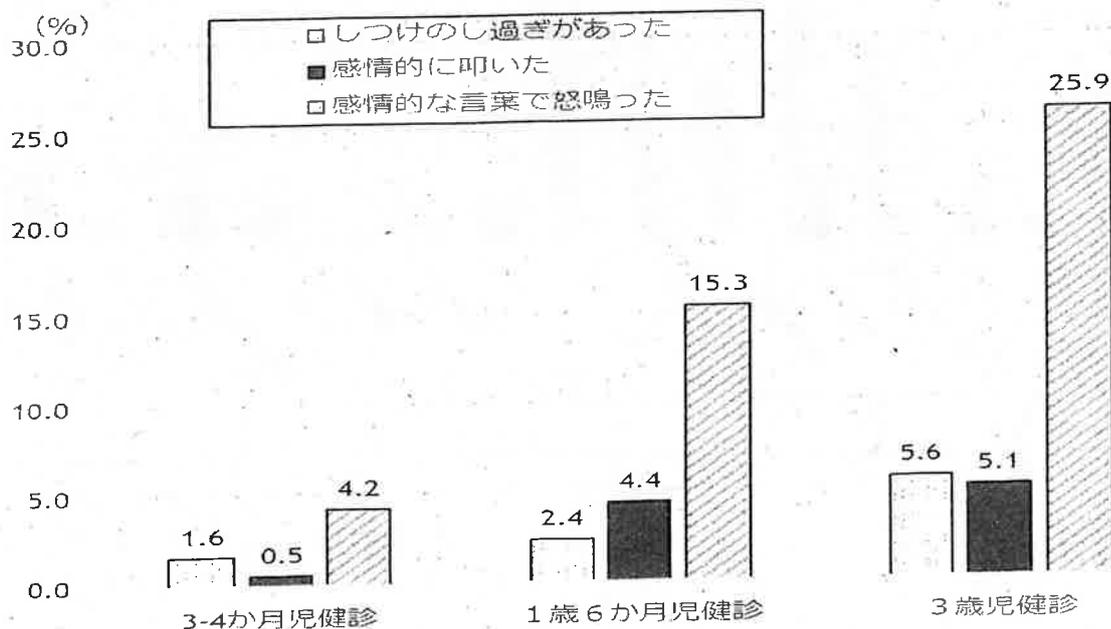
令和6年度健診アンケートから、月齢が上がるほど、しつけのし過ぎ、感情的に叩いた、感情的な言葉で怒鳴ったことがある方が増えていることがわかります。

健康診査の未受診児は子どもの虐待につながるリスクが高く、産後うつ状態、閉じこもり等の育児上の問題を抱える保護者や発達の遅れを持つ乳幼児が潜在していることが考えられるため、未受診者に対して、電話や訪問等で状況確認と受診勧奨を行い、必要に応じて子ども福祉課や保育園等に連絡を取り、子どもの安全確認を行うことにより、全数把握に努めています。

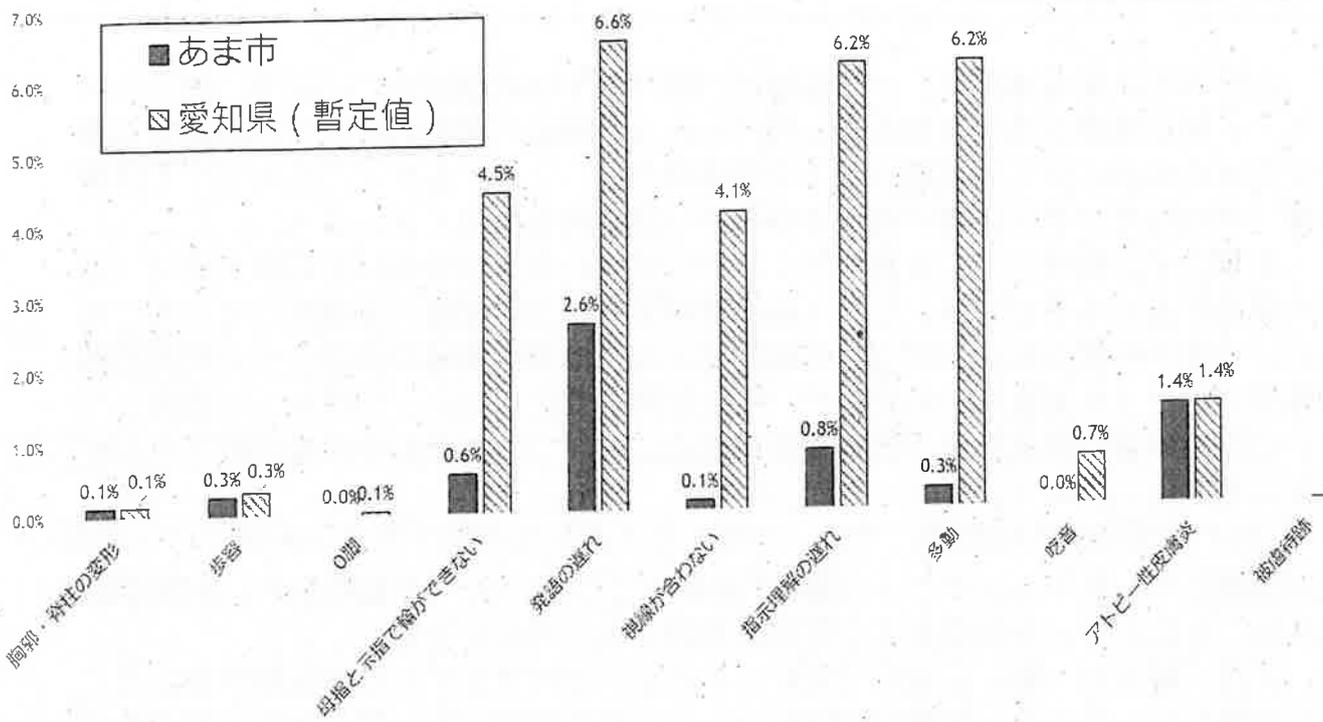
育てにくさを感じますか



ここ数か月の間に家庭であったこと



3歳児健診（令和6年度県比較）



(歯科所見あり)

健診 う蝕罹患型	1歳6か月児健康診査			3歳児健康診査		
	あま市		県 率(%)	あま市		県 率(%)
	数(人)	率(%)		数(人)	率(%)	
01型	276	46.9	58.1	(0型) 686	(0型) 94.5	(0型) 94.8
02型	313	53.1	41.4			
A型	0	0	0.4	33	4.5	3.8
B型	0	0	0.1	4	0.6	1.1
C1型	(c型) 0	(c型) 0	(c型) 0	0	0	0.1
C2型				3	0.4	0.2

※県率は暫定数

## (1) 事業一覧

※太字は新規・拡充事業

令和7年12月末現在

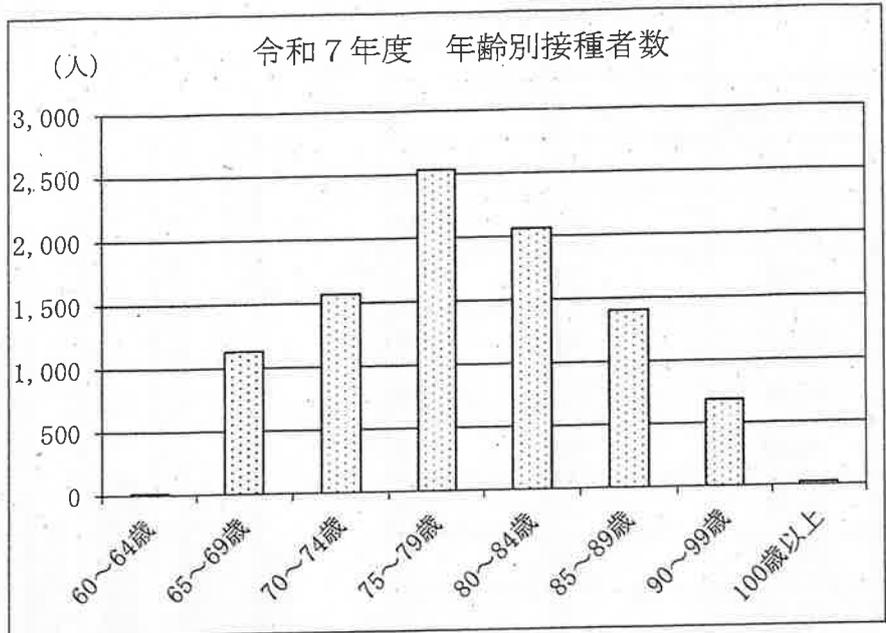
NO	種 類	対象年齢・接種回数	令7年度		令和6年度
			実績 (人)	年度末見込 (人)	実績 (人)
1	ロタウイルス 感 染 症	ロタリックス：生後6週から24週まで・2回 ロタテック：生後6週から32週まで・3回 (ワクチンによって接種時期・回数が異なる)	941	1,254	1,233
2	小児の肺炎球 菌 感 染 症	生後2か月から5歳に至るまで (開始年齢によって接種回数が異なる)	1,624	2,165	2,254
3	B 型 肝 炎	1歳に至るまで・3回 (標準的な接種期間 生後2か月から9か 月)	1,229	1,639	1,622
4	ヒ 感 染 症	生後2か月から5歳に至るまで (開始年齢によって接種回数が異なる)	42	42	690
5	5 種 混 合	生後2か月から7歳6か月まで・4回	1,594	2,125	1,553
6	4 種 混 合	生後2か月から7歳6か月まで・4回	158	158	769
7	3 種 混 合	生後2か月から7歳6か月まで・4回	20	20	0
8	不活化ポリオ	生後2か月から7歳6か月まで・4回	20	20	0
9	B C G	1歳に至るまで・1回 (標準的な接種期間 生後5か月から8か 月)	416	555	546
10	麻しん及び風 しん 混 合 ( M R )	1期(1歳)、2期(5、6歳) ・各1回	1期 444 2期 551	1期 591 2期 673	1期 534 2期 660
11	水 痘	1歳から3歳に至るまで・2回	746	995	1,138
12	日 本 脳 炎	3歳から7歳6か月まで・3回 小学4年生(9歳から13歳未満) 追加接種・1回 ※特例対象者(平成19年4月1日以前生 まれ。ただし、20歳未満)	1,991	2,654	2,614
13	2 種 混 合	小学6年生(11歳以上13歳未満)・1回	584	713	628
14	H P V 感 染 症 (子宮頸がん)	小学6年生から高校1年生相当する年齢 の女性・2～3回 ※特例対象者(平成9年4月2日～平成 21年4月1日生まれのうち令和4年4月 1日～令和7年3月31日までに1回以上 接種したことがある女性)・1～2回	817	1,089	3,208

## (2) 予防接種別実績 (事業一覧から抜粋)

### ① 高齢者インフルエンザ (11月末現在)

(単位：人)

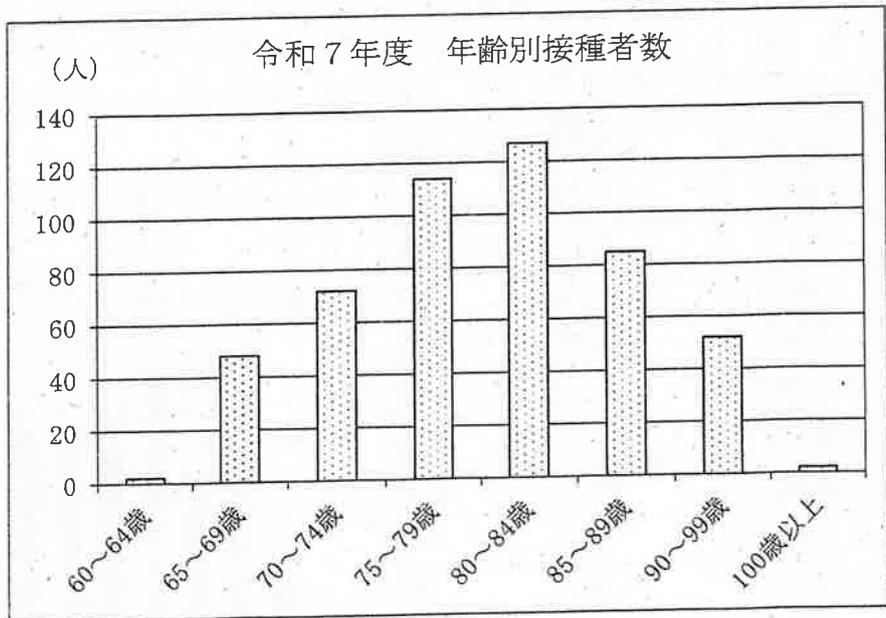
令和7年度 年齢別接種者数	
60～64歳	11
65～69歳	1,130
70～74歳	1,570
75～79歳	2,535
80～84歳	2,061
85～89歳	1,402
90～99歳	687
100歳以上	22
合計	9,418



### ② 高齢者新型コロナウイルス感染症 (11月末現在)

(単位：人)

令和7年度 年齢別接種者数	
60～64歳	2
65～69歳	48
70～74歳	72
75～79歳	114
80～84歳	127
85～89歳	85
90～99歳	52
100歳以上	2
合計	502



### 3 健康増進事業

---

健康増進法（平成14年法律第103号）に基づき、市民の健康増進の推進に関する施策についての計画を策定するよう努めるものとされ、市では第2次あま市健康づくり計画・歯と口腔保健計画・食育推進計画を策定し、平成29年度から令和8年度までの10年間、健康づくりと生活習慣病の予防、早期発見、早期治療を図るとともに介護を要する状態に陥ることを予防し、自立の促進と援助のため、健康づくりに関する事業を実施しています。本計画は、令和8年度に計画期間が終了となるため、計画の最終評価及び次期計画策定のための市民アンケートを今年度実施し、今後は調査結果の分析を行う予定です。

新型コロナウイルス感染症禍により、がん検診の受診者数が大幅に減少し、その後、令和6年度には増加傾向となり、令和7年度は概ね横ばいで推移していますが、がん検診の受診者数は、コロナ禍前の水準には戻っていない状況であります。

健康づくりに関しては、あらゆる年代での健康増進を目指し、健康マイレージ事業の継続実施や、動画配信の内容を増やし、家庭で出来る健康体操の普及を図ったり、出前講座や保育園での防煙教室など、地域に出向いての健康教育にも積極的に取り組んでいます。

また、人生100年時代を見据え、高齢者の保健事業を関係機関で連携して行い、介護予防やフレイル予防への取組を強化しています。

令和7年12月末現在

NO	事業名	実施時期 ・回数	対象	事業内容	令和7年度		令和6年度	
					実績 (人)	年度未見込 (人)	実績 (人)	
11	乳がん 検診	個別	6~10月	30歳以上 39歳以下 女性	視触診、超音波検査	333	333	393
		集団	22回	40歳以上 女性 前年度 未受診者	マンモグラフィ検査	699	699	736
	がん検診 推進事業 (クーポン)	個別	6~2月	41歳女性	マンモグラフィ検査	35	53	67
		集団	22回			28	28	24
12	肝炎ウイ ルス検査	個別	6~10月	41歳以上 70歳以下 で過去に 肝炎検査 を受けた ことがな い方	B型・C型肝炎ウイ ルス検査（血液検 査）	403	403	14
		集団	25回			396	396	25
	健康増進 事業 (クーポン)	集団	25回	40歳	B型・C型肝炎ウイ ルス検査（血液検 査）	45	45	89
13	歯と口腔 の 健診	集団	9回	18歳以上	歯周病・口腔粘膜・ むし歯等の健診 75歳以上には嚙め る・むせる等の問診 項目の追加と咀嚼能 力や舌機能の評価	175	175	210
14	30・35歳 健診	集団	3回	30・35歳	身体計測、血圧測 定、検尿、血液検 査、内科診察等	109	109	108
15	すこやか か診 健	集団	3回	40歳以上 生活保護 受給者	身体計測、血圧測 定、検尿、血液検 査、内科診察、心電 図等	5	5	7
16	骨粗しよ う症検診	集団	6回	20歳以上 70歳以下 女性 前年度 未受診者	骨粗しょう症の早期 発見と予防 踵骨（かかと）の超 音波検査	125	125	109

令和7年12月末現在

NO	事業名	年間予定 実施回数	事業内容	令和7年度		令和6年度
				実績	年度末 見込	実績
23	健康づくり マイレージ 事業	6~12月	市民等の自主的な健康づくり活動を支援 【一般コース】市民等を対象に健康づくりにつながる取組を実践したマイレージ(20ポイント)獲得者へ「優待カード」及び抽選で「健康グッズ」等を贈呈	1,451人 (内アプリ 83人)	1,451人 (内アプリ 83人)	1,357人 (内アプリ 95人)
			【小中学校コース】児童・生徒・保護者を対象に健康づくりにつながる取組を実践したマイレージ(30ポイント)獲得者の人数に応じて、学校へ交付金を交付	11,052人	11,052人	10,656人
24	出前講座	随時	健康づくり、フレイル予防等に関する講話	306人 /11回	417人 /15回	354人 /16回
25	運動動画配信	通年	働く世代を中心に子どもから高齢者まで家庭で出来る健康体操の動画を配信	SNS啓発回数 2回	SNS啓発回数 4回	SNS啓発回数 4回
			<b>新たに市民課窓口、がん検診待合、乳幼児健診待合で配信</b>	配信/通年	配信/通年	配信/通年
26	あま体操 普及啓発 (啓発及び動画配信)	随時	「ずっとWeLoveあま!体操」を市民体操として、あまつり、あまのわ等で啓発	啓発回数 19回	啓発回数 21回	啓発回数 20回
27	健康づくり 応援店	通年	野菜摂取量促進メニューの促進、食育・食生活に関する情報の提供、受動喫煙防止への協力を提供していただく店舗を登録し、周知を図る	新規店舗数 0	新規店舗数 1	新規店舗数 5
28	園児の 防煙教室	16回	市内保育園・幼稚園・認定こども園の年長児を対象に受動喫煙防止の推進を図る	544人 /15園	600人 /16園	744人 /17園
29	生き生き 推進支援 活動	26回	健康づくり計画・歯と口腔保健計画・食育計画の推進するためのサポーターの育成及び活動支援 ・健康に関する勉強会 ・研修の企画 ・計画した活動をする場の提供 ・ボランティアグループ登録支援 ・自主活動に向けた助言指導	19回 役員会 8回 定例会6回 イベント等 周知活動5回	25回 役員会11回 定例会8回 イベント等周 知活動6回	30回 役員会11回 定例会13回 イベント等周 知活動6回

## (2) 個別がん検診

(単位：人)

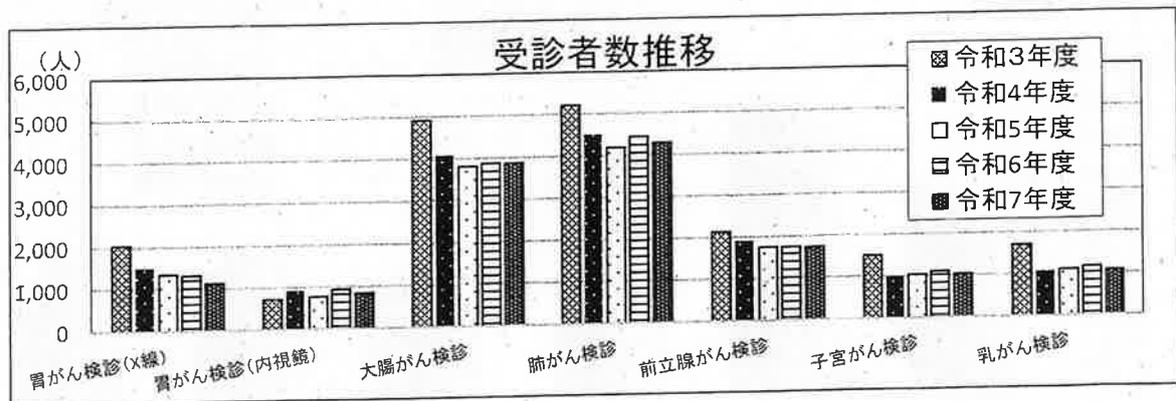
種目 \ 結果	異常なし	要精密検査	精検受診者数	合計	うち がん発見者数
胃がん検診 (XP)	1,074	58	43	1,132	1
大腸がん検診	3,473	395	159	3,868	7
肺がん検診	4,210	87	70	4,297	2
前立腺がん検診	1,609	130	82	1,739	6
子宮がん検診	1,013	19	7	1,032	0
乳がん検診 (マンモ)	672	62	50	734	0
乳がん検診 (超音波)	308	25	12	333	0

	次回検診	再検査	要治療	合計
胃がん検診 (内視鏡)	922	12	10	944

### 《受診者数の比較》

(単位：人)

種目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
胃がん検診 (XP)	2,040	1,501	1,350	1,318	1,132
〃 (内視鏡)	719	926	770	944	849
大腸がん検診	4,922	4,071	3,806	3,879	3,868
肺がん検診	5,213	4,510	4,282	4,443	4,297
前立腺がん検診	2,129	1,907	1,746	1,749	1,739
子宮がん検診	1,443	966	1,016	1,087	1,016
〃 クーポン	62	29	15	16	16
乳がん検診 (マンモ)	1,054	586	685	729	699
〃 クーポン	139	72	42	42	35
乳がん検診 (超音波)	509	408	372	393	333



## 4 自殺対策事業

---

平成28年の自殺対策基本法の改正により、自殺対策の新たな位置づけが「生きることの包括的な支援」となり、地方自治体に自殺を防ぐための計画策定が義務付けられ、平成30年度から令和9年度までの10年間の期間とした「あま市自殺対策計画」を策定し取り組んでいます。

令和7年度は、これまでどおり、自殺防止のための正しい知識などの「普及啓発事業」及び悩んでいる人に気づいて声をかけることができる人材を養成するための「ゲートキーパー養成講座」を推進しました。

普及啓発事業では、より多くの方に理解と協力、そして、意識をしていただくため、相談窓口リーフレットを関係各課や市民病院、調剤薬局等に設置し、広く市民に配布しました。また、自殺対策強化月間に、市内図書施設において、こころの健康に関する特設コーナーを設置しました。

人材育成では、「ゲートキーパー養成講座」を受講した方に対して、知識の再確認と向上を目指した、フォローアップ講座（研修）を実施するとともに、これまでどおり、新たな人材を育成するための「ゲートキーパー養成講座」を学校関係者（PTA、学校保健委員会）等に対して行うとともに、学校関係者（養護教諭やスクールソーシャルワーカー）と連携強化を図り、児童生徒のこころの健康づくりについて取り組みました。